

第6話 脳卒中の陰にかくれ脳出血あり

第3話では「かくれ脳梗塞」のお話をしました。今回は「かくれ脳出血」についてお話ししたいと思います。

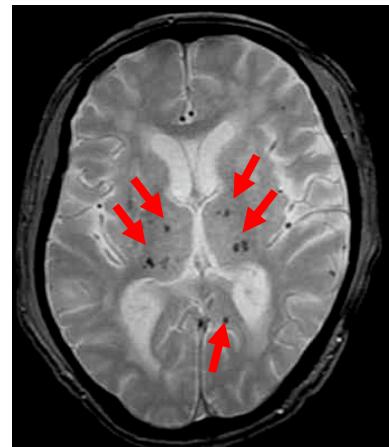
(1)「かくれ脳出血」ってどんなもの？

脳出血で緊急搬送された患者さんをMRI検査で詳しく調べると、倒れた原因となつた新しい大きな出血以外に、ごく少量の血液が漏れた痕跡が見つかる場合があります。これを脳微小出血(かくれ脳出血)といいます

(2)「かくれ脳出血」見つける方法は？

CT検査や通常のMRI検査では検出できません。「T2スター強調画像(T2*WI)」もしくは「磁化率強調画像(SWI)」という特殊なMRI撮像方法を用いることで見つけることができます。

当院では、ほぼ全ての頭部MRI検査で、「T2スター強調画像」を撮像しています。



T2スター強調画像



赤矢印の黒いゴマのような点が、
かくれ脳出血です。

(3)「かくれ脳出血」はどのくらいの割合で見つかるの？

脳出血で運ばれてきた人では 100 人中なんと 60 人前後と非常に高率に見つかります。ちなみに脳血管障害を持っていない人では 100 人中で 2,3 人にしかみつかりません。もし、あなたの頭にかくれ脳出血があれば、かくれ脳出血が無い人に比べて、脳出血が 50 倍、脳梗塞が 4.5 倍起こりやすいとも言われています。

(4)「かくれ脳出血」このようにイメージしてください。

血管が高血圧によって劣化し、傷んだ部位から血液が漏れ出してしまうことがあります。

散水用のゴムホースを思い浮かべて下さい。古くボロボロに傷み、ときおり水漏れをするホースに勢いよく水道水を流したらどうなりますか？亀裂を生じて、そこから水が勢いよく噴き出すことも、経験しますね。

高血圧のかたで、かくれ脳出血がある場合、本物の脳出血を起こしやすく、いかに危険かがお解りいただけたと思います。



(5)「かくれ脳出血」が見つかったら

血圧を厳密に管理し、血管に過剰な圧力がかからないようにします。これによって、血管が破裂することを防ぎます。

さらに、血圧を下げることで、血管の劣化の進行を抑え、劣化を改善させることも可能となります。